

## 第1学年

# 読むこと②

登場人物の設定や心情・情景の描写から作品の主題を理解すること

### つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか？～

登場人物の行動描写から心情を的確にとらえることができない。  
(初発の感想から最終場面のとらえ方に個人差が見られる)



全文を読んでみて、  
気になった一文を抜き出し、その理由を書きなさい。



「指で粉々に押し潰してしまった。」

- 大事にしていたチョウをなぜ粉々にしたのかわかりませんでした。
- エーメールに冷たい目で見られ、どうしようもなく、つぶしたのだろうか。
- とても珍しいチョウなのに、押し潰したことが気になりました。
- 何もかも終わったと感じたから、潰したのだろうか、もっと詳しく知りたい。

### 実践の概要

単元名

作品を読み解く

『少年の日の思い出』東京書籍

目標 最後の場面で、「僕」がチョウを押し潰した行動について考える。

内容 ・「最後の場面」の音読を繰り返し、「僕」の告白に対する「エーメール」の反応と、そのときの「僕」の思いをとらえる。

- 「僕」がなぜチョウを粉々に押し潰してしまったのか、意見の交流をする。

### 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第3学年	関係を解く	登場人物の設定や心情・情景の描写から作品の主題を理解することができない。
第2学年	描写を味わう	場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えることができない。
第1学年	作品を読み解く	登場人物の行動描写から心情を的確にとらえることができない。

### 単元末の目指す姿

- さまざまな形態での音読を繰り返すことで内容の理解を深め、自分の力で発問に対する考えをノートに書くことができる。
- 人物の行動描写について読み解く発問に対して、ペア交流や意図的な指名による全体交流で出た意見をメモする活動を通して、深く考え、主題をつかむことができる。

### つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

#### さまざまな形態の音読をリズムよく繰り返す。

活動のねらい▶ ・繰り返し音読させることで、文章内容を十分に理解させる。

#### ここがポイント

1時間の授業で、音読の時間を10分から15分とる。教師の範読、ペアでの音読、一斉音読、個人音読、発問に直接つながる部分の繰り返し音読、指名音読など、さまざまな音読パターンを授業展開の中にリズムよく取り入れていく。

#### 授業の様子



繰り返しの音読をさせる際は、リズムが大切です。間髪入れずに、次の指示を出すことで、集中力がぐんと高まります。



### つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

#### 描写をもとに、登場人物の行動の背景にある心情を考え、交流する。

活動のねらい▶ ・行動描写をもとに登場人物の心情をとらえるようにする。

#### 実際のノート

#### ここがポイント

- ・主人公がどういう思いだったかを推測させ、何度も読み返させながら、その思いが表れている部分を探す。
- ・探した叙述をもとに、推測した主人公の思いを加筆・修正する。
- ・5行程度で簡潔に自分の考えを書くように指示をする。
- ・各自の考えを交流し合い、相互評価する。

#### (期待される生徒の姿)

- ・最初に自分が推測したことに基づいて登場人物の行動の意味を考えることで、一貫性をもたせることで、心情描写と行動描写を結び付けて考えることができるようになる。
- ・交流・相互評価する中で、自分の考えを客観的に見直すことができ、理解を深めることができる。

